

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションコーディネート Fashion Coordinate		1年	前期	月曜・2時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションデザイン（講義） ファッションデザイン演習Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
阿部芳子	福祉棟・3F	月・水曜 16:00～12:30（授業時間を除く）	授業中に指示します	
授業の概要				
ファッションの基本である人体と服種やアクセサリデザインの関係、素材、縫製技術の多様性などファッション商品を理解し、ファッションコーディネートを、スタイリストのアプローチで提案を初歩から学ぶ。その時代の流れに乗ったイメージ操作と消費者の心をとらえる販売活動につなげられるようにする。				
授業の到達目標				
ファッションコーディネーターとして必要な知識である情報やトレンドサイクルの仕組み、ファッションイメージ作成のための情報などを学ぶことで、自らファッションコーディネートプラン実践の仕組みを身につけることができるようにする。				
授業の方法				
①服飾造形とアパレル生産の仕組みを理解する。②アイテム別商品構成を理解する。③コーディネートの基本的知識と技術を身につける。④テーマ別にファッションコーディネーター提案マップを作成 ⑤学生のファッションスタイルから写真撮影を行い、発表することで、さらに実践力を高める。				
学習の成果				
ファッションコーディネートの基本的な知識と技術をテーマ別に学び、体型や姿勢との関係、ライフスタイルや素材、イメージに視点を置いたコーディネートなど学をぶことで、スペシャリストに必要な知識と技術が身につく、ファッションの現場で実践の幅を広げることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	服種別のデザインを理解		自分のファッションマップ作成	シーズン別
第2回目	体型と姿勢、歩き方との関係			
第3回目	アイテム別の一般知識（婦人服・紳士服・子供服）			
第4回目	素材の理解 副素材及び付属品（芯・裏生地などの目的）			
第5回目	衣服のパターンの理解、シルエットとの関係、裁断・縫製の基礎			
第6回目	スタイリスト的アプローチ（オケーション別コーディネート）			

第7回目	スタイリスト的アプローチ（カラー・形態・素材）	
第8回目	スタイリスト的アプローチ（シーズン別スタイル提案）	
第9回目	歴史から学ぶ着装　民族服から学ぶ着装	
第10回目	着物の着装　（浴衣・街着・訪問着・袴・和装の歴史）	
第11回目	コーディネートマップ作成　説明	
第12回目	コーディネートマップの提出・発表	
第13回目	コーディネートプランの実践　①　手順	
第14回目	コーディネートプランの実践　②　撮影　校舎内・校庭	
第15回目	コーディネート発表　写真集としてまとめる	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	遅刻、欠席がなく積極的に授業参加しているか。設問に適切に答えていたか。
レポート	20%	テーマに沿った内容で、内容がまとめられていたか。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	40%	ファッションの基本を理解し、コーディネーターとして基礎知識力を発揮できていたか。
発表内容（態度含む）	30%	人に見せるためのプレゼンテーション力は次第にレベルを高め、魅力ある発表提案であったか。
その他		
教科書と参考図書		
スタイリスト&コーディネーターの条件　（文化出版局）、　ファッションビジネス　流通編基礎（文化服装学院編）		
履修上の心得・ルール		
興味をもち、意欲的に取り組んでください。		